



わっしょい、わっしょい おみこしだ (夕涼み会・海津見保育園)

さかわ

Sakawa

55
2013.8.1

議会だより

発行 高知県佐川町議会

6月定例会

contents

目次



子ども・子育て会議を設置 2

介護マークの導入を(一般質問) 5

地区別に議会懇談会を開催 14

業務継続計画、策定検討を(あの質問のゆくえ) 18

黒岩の領主 河間光綱の墓碑 (黒岩・庄田)

会 計 名		補正額	補正後の額
一 般 会 計		1,990	65億1,657
特別会計	国民健康保険	△180	18億5,230
	介護保険	418	17億5,501
	後期高齢者医療	74	2億1,024
	水道事業	478	3億3,977
	病院事業	321	27億 819

水道会計、病院事業の予算額は（収益的支出額＋資本的支出額）を計上



6月定例会は、7日から13日までの会期で開かれました。
平成25年度の補正予算をはじめ、議案14件、報告4件を採決の結果、賛成全員および賛成多数で全件可決しました。
一般質問には7人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。

6月補正予算 一般会計 1990万円を 増額補正

条例改正

公益法人へ

職員を派遣

社団法人化を予定している、「さかわ観光協会」への職員派遣に伴い必要となる、公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律に基づく条例整備を行うもの。

（公布の日から施行）

（賛成・全員）

子ども・子育て会議 設置条例

子ども・子育て支援法に基づき、「佐川町子ども・子育て会議」を設置し、同会議の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるもの。

（公布の日から施行）

（賛成・全員）

旧浜口家住宅の 運営を規定

上町地区にある旧浜口家住宅の設置及び管理に関するもので、実施する事業内容、指定管理に関する規定、利用時間及び利用料金等を定めるもの。

（規則で定める日から施行）

（賛成・全員）

協定締結

町立保育所、 仁淀川町民使用へ

町立保育所を仁淀川町の要保育児童が使用できるように仁淀川町と協定を締結するもの。

（賛成12・反対1）

工事請負契約

平成25年度

名教館移築工事

（契約の方法）

指名競争入札

（契約金額）

4380万6千円

（契約の相手）

栄宝生建設株式会社

（賛成・全員）

佐川町立黒岩中学校耐震補強及び大規模改造工事

（契約の方法）

指名競争入札

（契約金額）

9240万円

（契約の相手）

株式会社 晃立

（賛成12・反対1）

6月定例会で決まりました

6月 補正予算 ピックアップ

保育士

処遇改善補助金

940万円

保育士の人材確保対策として、県の安心こども基金を利用して民間保育所へ保育士等処遇改善臨時特例事業補助金を交付するもの。



しっかり食べて、すくすく育て

放課後

子ども教室事業

92万円

斗賀野小学校の放課後子ども教室で、登録児童数の増加、情緒障害児童の加入により臨時職員1名を増員するために予算を増やすもの。

土佐のむかし話

作製委託料

50万円

旧常呂町（合併後北見市）との姉妹都市提携25周年に伴い、RKC高知放送の「土佐のむかし話」作製を委託するもの。

母乳相談委託料

25万円

現在、母乳相談補助券（500円分）を、上限30枚で発行している。7月1日より、30回を超えて相談が必要な場合、再申請により、特例として追加交付し、有効期限内であれば何回でも利用できるようにするもの。

ねんりんピック

大会事業負担金

38万円

10月26日から開催される「ねんりんピックよさこい高知2013」。本町でもウォークラリーの競技が実施される。その参加者への記念品及び入賞者への商品の購入に充てるもの。

ふるさと学習

サポーター

派遣事業
182万円

「牧野富太郎ふるさと館」の展示用掛け軸等の貴重な資料が劣化する恐れがあることから、パネル、レプリカを制作するもの。

地域づくり

支援事業

260万円

牧野公園のぼんぼり及びテントを購入するもの。



貴重な資料のレプリカを展示 牧野富太郎ふるさと館

これを 聞いてみたい ぜよ

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

旧浜口家住宅

指定管理者は

松本議員 旧浜口家住宅の設置及び管理に関する条例には、管理は指定管理者に行わせることある。旧浜口家住宅に観光協会の事務所を設けるようになってはいるが、他の方に指定管理を行わせることもあるのか。また、観光協会が行う場合、職員等の費用は、指定管理料で賄うのか。

渡辺産業建設課長 指定管理は、公募によらない方法で「さかわ観光協会」のみを想定している。職員の人件費は、指定管理料だけで賄うのではなく、雇用対策、町の業務委託など幅広い中で賄うように考えている。



8月から始動する観光協会事務所が入る旧浜口家住宅

体験宿泊、同業者と バッテリーしないか

中村議員 旧浜口家住宅の体験宿泊事業は、同業者とのバッテリーングの問題が出てくる。また、利用料も、宿泊であれば、例えば、夜7時から朝7時まで利用すればかなりの額になるのではないかと。配慮は十分なされているか。

渡辺産業建設課長 体験ということであり、通常の宿泊時の接待やおもてなしは想定していない。歴史的建造物に泊まれるという、京都や奈良などの方式であり、必要最低限の料金を想定している。

本町にとって、宿泊体験することによって、地域の同業者にも効果があり、良かったといわれるものに作り上げたいと思っている。

保育士の処遇格差 どう捉えているか

森議員 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金940万円が出てはいるが、これは保育所の処遇に、現状では差があるということだと捉えている。この格差をどう捉えているか。

下川健康福祉課長 公立保育所と比べて、私立保育所の場合、保育士自体の勤務年数が短期で抑えられていることから、保育士自体の賃金レベルがある程度低く抑えられている部分について補完するものだ。

名教館移築工事 追加工事の心配は

西村議員 名教館移築工事は、建物が古いので、浜口邸の例のように、多くの追加がいらるのではないかと心配している。追加工事が出ないよう、どう考えているか。

榎並谷町長 浜口邸の時は、当初から見誤ったところがあった。設計変更は万にやむを得ない事情が出た場合であり、工事業者にも設計者にも協力いただき、変更増がないような形で完成するよう願っている。



名教館が移築される旧浜口家住宅前

7人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

高齢者肺炎球菌ワクチン

町独自の助成を

健康福祉課長 10月に実施したい

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種を促進するため、県は本年度より一人当たり3000円を、70歳から74歳の高齢者の方を対象に補助する事業を開始した。

しかし、74歳で区切りをつけて、それ以上の高齢者の方に何の手当もないというのは、行政の在り方として疑問符が付く。

75歳以上の高齢者の方について、町独自の助成を行つべきだ。

榎並谷町長 早急に検討して、補正予算が必要なら9月議会で相談したい。

下川健康福祉課長 75歳以上の方についても、ワクチン接種の公平性と感染予防の観点から、10月にインフルエンザと同じ時期に、併せてこの事業を実施していきたい。

介護マーク

導入を

健康福祉課長 希望する介護者に配布



多くの人に知ってもらいたい

介護をしている人が、周囲に介護していることを知ってもらうための介護マークが、全国の自治体で導入が進められている。介護中というプレートを首からぶら下げるもので、介護する人の心の負担を軽減することが目的だ。本町でも介護マークの導入を。

下川健康福祉課長 希望する介護者に、早期に配布するよう準備を進める。

県・近隣町村に対しても、意見交換を進めながら、共通の課題として普及していく努力をしていきたい。

少子化対策の目的は、一言でいえば、子どもを増やすことであり、「不妊症・不育症」への治療費に対するの公費助成の取り組みは、最優先課題だ。不妊症と不育症の治療費への公費助成に取り組むべきだ。

町長 実施できる方向で検討したい

公費助成を

榎並谷町長 町として、不妊症治療にどういった形の援助ができるか、実施できる方向で、早急に検討していきたい。

不妊症・不育症治療費



かわいいな 子どもはまちの宝



森 正彦 議員

町政懇談会

民意どう受けた

町長 行政にどう生かすかが課題

去年の12月から開催された町政懇談会を総括し、民意をどう受け止めたのか。
また、開催時期が12月から3月で、政策的な提



工事が進む、鷹ノ巣のメガソーラー

言があっても、次年度の政策に生かせない。どういう姿勢で開催したのか。榎並谷町長 懇談会は住民の皆様の声を直接聞く目的で開催した。
結果として身近な道路、水、健康の問題が数多く出された。身近な問題が多くあるという認識をしており、そういった声をこれから行政にどう生かしていくのが、今後の課題だと感じている。
開催時期については、年度当初から始めた方がよかったと思っている。今後の住民懇談会の方

向は真剣に考える。

新エネルギー政策

計画との整合性は

総務課長 位置づけられた取り組みだ

今年の重点施策として、新エネルギーの導入を掲げ、メガソーラー、住宅用太陽光発電、木質ペレットによる役場庁舎の冷暖房施設の導入を計画している。
本町には佐川町地域新エネルギービジョンがあるが、その計画との整合性は。
岡林総務課長 平成18年度に策定されている佐川町地域新エネルギービジョンに、導入可能な新エネルギーの活用を具体化するとある。
メガソーラーの言葉はないが太陽光発電システムの導入促進であり、ビジョンに位置づけられた取り組みであると考えている。

ナウマングラウンド

今後の活用は

教育長 幅広く使っていただく

2億円を超える多くの資金を投入したナウマングラウンドは、活用されていないように見えるが十分活用されているか。
町民の健康と体力向上に活用できるようにするべきだ。今後の活用は。
川井教育長 現在の利用は、少年サッカー、ソフトボール、さくらの森学園が定期的に利用している。また、パシフィックオープンや中体連の大会、大学の合宿やファイティングドッグスの練習にも利用されている。
今後の活用については、町内外の方に幅広く使っていただけるものにしていきたい。



町民に愛されるナウマングラウンドに



中村 卓司 議員

近年、必ず起こり得るであろうと言われている南海大地震。本町は、津波の心配のない関係で、地震対策が、希薄に思える。東日本の災害など過去の地震を踏まえて、本町における防災対策はどこまで進んでいるのか。

防災対策

進んでいるか

総務課長 適宜、防災会議を開く

岡林総務課長 南海地震対策として、まず、自主防災組織の組織率を26年度には100%を目標に取り組んでおり、地区連絡協議会の設立やリーダーの育成を図っていききたい。

また、災害時の応援協定は、30以上の会社、団体と締結しており、今後必要な支援協定の締結に努めたい。

本年度は、地域防災計画の改定、業務継続計画の作成、職員初動対応マニュアルの策定などに取り組み、適宜、防災会議や検討会を開き、進めていきたい。

ごみ収集事業談合問題

今後の対応は

町長 係争中で論じられない

ごみ収集事業談合問題について、3月定例会では原告勝訴の判決があったとの報告があった。それを受け、町は高松高裁へ控訴したとの説明があったが、今後、どのように対応していくのか。

岡林総務課長 「業者間の談合があったとの根拠はあくまでも疑いの推測とされる程度にとどまるものであり、談合があったとは認定できない」との理由で、控訴を行った。今後の裁判は数回の口頭弁論を経て、判決は年を越すと思われる。榎並谷町長 控訴をし、係争中であり、結果論について、論じることではない。

高北病院・患者にやさしい医療

手配りは

病院事務局長 患者の視点を重視



患者に寄り添う病院へ

高北病院は、新病院が完成し、新たな一歩を踏み出す。これを機に今まで以上に患者さんに優しい医療が提供できる手配りができているか。笹岡病院事務局長 新病院は全面バリアフリーで、トイレ、階段、エレベーター、浴室など高齢者や障害者に配慮をし、ナースステーション等の配置も患者さんの視点を重視した機能を持たしている。

また、待ち時間短縮の対策の一環として、5月から電子カルテシステムを導入している。患者さんへの気配りは接遇研修を実施しており、今後も続けたい。

その他の質問

○観光協会はどのような内容で事業を進めるのか。

○メガソーラー事業は、地元への説明は十分か。

永野古用地の2カ所通行できない箇所について、昨年6月に質問した折の答弁は「県外にいる地権者と交渉中で、用地売却の意思もあり、今後事業化する」とのことであった。その後の経緯と具体的な完了予定はどうか。

永野古用地・不通区間

完了予定は

産業建設課長 来年度に着手したい

片岡 勝一 議員



早期完成へ動き出した上郷楠谷線

渡辺産業建設課長 町道上郷楠谷線の2カ所が、未施工状態となっている。永野地区の自治会長全員からも要望があり進めている。

県外にいる地権者と協議をし、本年度は事業用地の鑑定業務、用地測量、来年度は用地買収を行い、設計、入札となり工事に着手したいと考えている。

かいな小富士団地

区画整理を

総務課長 土地鑑定士に相談し検討

かいな小富士団地の、現在売れていない空き地の現状は、道路面より高い土地から土砂が流れ出ている。

家を建てるには、外壁工事が必要となり単価が上がる。地価が下落した分、外周の工事をし、毎年少しずつ資金を出して区画整理すれば、宅地が完売できるのでは。

岡林総務課長 区画や価格の見直しは、土地鑑定士に相談し、検討中だ。

土羽部分の擁壁の設置は建設費も必要となるため、財政面も含めて勘案し、販売促進対策の一案として検討したい。

庁舎屋上の太陽光発電設置

その後は

総務課長 多角的に検討したい

本庁舎屋上への太陽光発電パネルの設置についての質問に対し、本庁舎、公共施設の設置に取り組みとの答弁があったが、

その後どうなっているのか。

また、庁舎内のLEDライト化で節電をしている必要がある。



いまだ対策が見えない、かいな小富士団地

岡林総務課長 屋上への太陽光発電システムの設置が可能であっても、大災害時に屋上を避難場所として使用することも考えられるため、多角的に考え、判断しなければならず、もう少し検討の時間をいただきたい。

平成24年度にLED化を実施し、以前の電灯と比べ、電気料金が月3万円ほど安くなっている。



今橋 寿子 議員

牧野公園の整備や上町地区の活性化は、牧野生誕150年を一過性のイベントで終わらせず取り組んでいく必要がある。牧野公園の10年計画の構想はどのように練られて

牧野公園の再生

構想は

副町長 マスタープランを作成

いるのか。

また、牧野ふるさと館の活用目的、管理体制はどのようなものになっているか。

西森副町長 10月18日付

の高知新聞に町が10カ年計画を策定すると載っていたが、執行機関として決定している経過はない。

牧野公園の再生マスタープランを、予算措置を行い、作成したい。

渡辺産業建設課長 牧野

富太郎博士の顕彰を設置

目的の主なものとして、教育委員会で1名雇用して展示運営に当たる。

管理は指定管理者制度により、NPO法人佐川

くろがねの会にお願いしている。



牧野博士ゆかりの草花を植栽

男女共同参画

計画作りは

総務課長 25年度内に完成予定

男女共同参画について、

12月定例会で質問した折、女性の割合が他の市町村と比べて少ないので、増やしていくことがベタ

ーとの答弁をいただいて

いる。4月1日の人事異動による男女の管理職の

バランスはどのようになっているのか。

また、男女共同参画計画作りはどのようになっているのか。

岡林総務課長 女性管理職の割合は、係長以上では昨年度27・3%で今年

度は27・9%の微増である。

男女共同参画計画の条

例を作成する必要はなく、計画の策定について言えば、7月上旬に第1回策

定委員会を開催し、25年度内に完成する予定。策

定に当たっては、住民の要望等も十分把握しながら計画に盛り込みたい。

霧生関公園

どう引き継ぐ

町長 任期中に正して、引き継ぐ

8年前、前町長より負の課題として何点が受け

継がれた中で、大きな課題は霧生関公園だと考え

られる。この問題を横並谷町政の任期中にどのような形で取り組みをつけ、引き継ぐつもりか。

横並谷町長 当初の目的

に沿って公園整備をすべく、あらゆる手段で残土

を受け入れた経過がある。用地の境界については等

価交換ということ、地権者の内諾は得ている。

火薬庫の移転先についてはまだ結論が出てない

が、関係者とは精力的に話をしている。任期中には正して、後任の行政に引き継ぎをしたい。

その他の質問

○住民票を取得する時の本人確認の方法を変更

できないか。



さらに女性が活躍できる佐川町役場に

NHK ラジオ放送・夜間受信困難

対策は

総務課長 調査、検討を働きかける

坂本 貞雄 議員



NHKラジオ第一放送は尾川地区で夜間は、ほとんど受信できない状況だ。NHKに実態調査を依頼し、その対策を考えることはできないか。



夜間、NHKラジオが受信しにくい尾川地区

岡林総務課長 NHKラジオ第一放送は中波のため、夜間においては、その電波の特性で受信できない、あるいは混信が起きることがある。災害時のメディアとしてラジオは重要であるので、尾川地区の難聴の状況をNHKに伝え、調査、検討を働きかけたい。

消費税増税・経過措置

目配りは

町長 9月末の発注目指す

2014年4月から消費税が8%に増税される。請負工事代金の消費税額は経過措置があり、9月30日までに契約すれば5%のままである。このことに対しての備えも当然考えていると思うが、町長はどう目配りしていくか。渡辺産業建設課長 経過措置は認識しており、25年度の大いなる工事は9月30日までに請負契約し、年度内完了を目指したい。榎並谷町長 町の負担を軽くするために、9月末の発注を目指さなければならぬ。

南海トラフ巨大地震・被害想定

どう受け止めた

町長 備えを住民と共有

榎並谷町長 被害想定は最悪のものと受け止めショックを受けている。自助・共助・公助が基本であり、最大の被害想定に、どう備えるかというのを住民と共有していかなければならない。行政として、業務継続計画あるいは地域防災計画の見直しを含めて、考えていきたい。

県は5月15日、南海トラフ巨大地震の県独自の被害想定を出した。本町の被害は死者90名、負傷者760名、全壊建物1400棟とされている。町長はこの被害想定をどう受け止めているか。



黒岩小学校で行われた防災キャンプ



松本 正人 議員

ここ数年、国保会計が赤字続きとなっており、国保税の引き上げが検討課題となる可能性がある。被保険者の負担は限界にきており、これ以上の負担増はあつてはならない。

国保会計・法定内繰入

繰り入れすべきだ

町長 これからの議論

本町の国保会計では国から繰り入れが認められている法定内繰入をしていない。法定内繰入をするべきだ。

また、県下24自治体で実施されている中学校卒業までの医療費無料化を本町でも実施すべきだ。

榎並谷町長 国保会計を一般会計で援助するならば、被保険者で補うのか町全体で補うかはこれからの議論となる。法定内繰入についてもこれまで、どうして繰り入れがされてなかったのかも含めて議論していかねければならない。

中学生は大人の部類になると考えており少子化対策の外であると考えている。



霧生関公園予定地に隣接する火薬庫

霧生関公園

謝罪と説明を

町長 行政として仕上げていく

霧生関公園建設問題は、町民から「そんなに金をかけて公園があるかよ」という声が多く聞かれる。この事業は町長の政策の中でも最低だ。火薬庫も含めて、地権者との問題についても、わかりきっていた話なのに、それが解決できないから「できませんでした」というのは、謝罪に当たる。住民に謝罪と十分な説明をするべきだ。

榎並谷町長 完成が遅れたことは私の不徳。おわびしなくてはならない。

しかし、行政として、きちっと仕上げていく必要があると考えている。

産業高度化技術開発センター事業

費用対効果は

町長 人材育成に尽くした

平成19年に、水の科学研究所の主催で、ベンチャー企業の育成を目的に、本町で「水の国際会議」が開かれた。これから発展し、産業高度化技術開発センター事業が始まった。平成23年度途中で終了したが、この間、全体で約2100万円、町単独分で約1400万円が投入されている。その費用対効果を考えてみるか。

榎並谷町長 この事業で利益を得たという事実は今のところはない。結果論として、先に世の中の

ためになるようなものを、大学側と研究しながら、人材育成にも尽くしてきたということ、ご理解願いたい。



研究は将来につながるか

その他の質問

○学校給食などの食中毒、アレルギー対策は。

○税、公共料金の滞納者への差し押さえの実態は。

○観光協会の職員の人選は。

所管調査レポート

産業厚生 常任委員会

調査日 4月26日

委員長 松本 正人

高北病院新病棟（新館）

利用しやすいか（要旨）

笹岡病院事務局長他1名の職員、「西森・森田設計企業体」の西森啓祐氏に出席を願い、新築棟の現状と今後の計画の説明を受けた。

5月1日に
オープン予定

調査日は旧館からの引っ越し作業にかかっており、5月1日のオープンの予定に向け家具などの搬入作業が進んでいた。廊下・待合場所は広く、ゆったりとした空間となっている。

手術中の
待合室併設

手術中の待合室が、今回設けられており、ゆったり待つことができる。このほか手術室、透視室などの説明を受けた。

委員から1階ロビー上



新病棟の説明を受ける委員

の、アクリル板手すりの揺れが気になるとの指摘があり、構造上は強度に問題はないとのことだったが、なお、指摘箇所については対処するとのことだ。

含め、全て工事が完了するのは今年9月末を予定している。

全ての完成は

9月末の予定

今後は、旧館の解体を

産業厚生 常任委員会

調査日 6月12日

委員長 松本 正人

第2次佐川町地域福祉計画

及び活動計画を学習する（要旨）

下川健康福祉課長他1名、田村社会福祉協議会事務局長他1名の出席を求め、第2次佐川町地域福祉計画・地域福祉活動計画について学習し調査した。

策定委員は住民の
代表が中心

第1次計画は20年度から24年度まで。第2次計画は25年度から29年度までの5年間で、計画策定は「みんなで福祉のまちづくり委員会」が行い、策定委員の中には若い方から年配の方までがあり、幅広く意見を集めて、住民代表を中心にアドバイザーに助言をしてもらいながら策定作業している。

共助・地域活動に
行政・社協積極支援

計画は特に防災の観点から、自助・共助・公助の中の共助の重要性に触れ、地域の課題を地域住民が自ら考え、地域のそれぞれ課題を見つけ、行政と社会福祉協議会の方も積極的に支援し、どのように解決していくかの考え方をまとめたもので、委員らも、この取り組みの説明は十分に理解できた。

住民同士の
つながりに成果

事例では、佐川、斗賀野、黒岩、尾川、加茂の各地域のイベント、自主防災組織の立ち上げにより、住民同士のつながりが進んでおり、地域づくりに成果が出ているとのことだ。今後の活動は、さらなる地域活性化につながり、期待できるものだ。



計画の内容を熱心に学習

調査日 5月1日

委員長 徳弘 初男

総務文教 常任委員会

かいな小富士団地他町有 財産管理されているか (要旨)

岡林総務課長他2名の出席を求め、かいな小富士団地、仁淀川町名野川山他の管理状況の説明を受けた。



販売価格の見直しも必要

**22年・23年度で
2区画売却**
小富士団地は、平成22年に土地開発公社から20区画を清算寄附を受け、24年度末で18区画を売却し、販売価格1億9千5百万円となっている。
22年度、23年度に、それぞれ1区画売却、別に1区画は(福)秋桜会に駐車場として賃貸している。

では、との意見も出たが先に購入している方への配慮もしなければならぬことから、売却に向けてさらに検討を重ねていくとのことだ。
崩壊箇所、災害復旧工事が完成
仁淀川町名野川山町有林の杉、ヒノキの生育状況と、カラタニ団地沢付近の大規模崩壊箇所の、災害復旧工事の完成を確認した。

調査日 6月12日

委員長 徳弘 初男

総務文教 常任委員会

町立図書館の現状と 利用状況を見る (要旨)

川井教育長他1名と、田村図書館長他2名の出席を求め、「図書館建設を求める請願書」を受けていることから、図書館の現状と利用状況を、平成24年度の図書館要覧をもとに説明を受けた。

**蔵書は川田文庫含め
5万437冊**
平成23年度、書棚整備と利用の貸出システム化(利用者カード)の整備をしており、蔵書は、川田文庫(佐川町文化センター)の貸し出していない物も含め、5万437冊を備えている。県立図書館とも相互連携し貸し出しをしている。
本の返却には、24時間体制で対応できるようにしている。

図書館の取り組みは
図書館情報の発信を、町広報誌に載せて町民の方に広くお知らせしている。
他町村にはない取り組みとして、町内の各保育所、小中学校で読み聞かせを行い、子どもたちに本の良さを知ってもらっている。
また、希望がありデイサービスでも行っている。

図書館の問題点は

本を増やしても書棚を設置するスペースがない。

乳幼児を伴い利用する場合、スペース的に無理がある(子どもの走りまわり)など利用者の共有場所に無理がある。

引き続き協議

これらを踏まえ、委員会は将来的には、建設を見据えて行くべきではあるが、現図書館の2階の利用も含めて引き続き協議していく。



図書館の利用状況を聞く

《 住民の中へ・・・地区別に議会懇談会を開催 》

5月2日、10日、17日、23日、31日の5日間にかけて黒岩、尾川、加茂、斗賀野、佐川の各地区で議会懇談会を開催しました。

議会側からは、各常任委員長から、25年度当初予算の概要、3月定例会の内容について説明し、住民からは、議員定数や議会改革、生活道の安全対策や町が進めている施策などについて、幅広い要望や意見が寄せられました。

黒岩地区

5月2日 16名

問 一般会計の賛否で反対2が出ているが、反対の理由は。

答 観光協会職員の増加、公共下水道事業に替わる対策がない、交通弱者対策が進んでいない、生活弱者が増えている中



で、国保体制とか厳しくなっているが、本予算にそういった対策をする姿勢が感じられないなどが主な理由。

問 予算を決めるときに、討論を行うことは、大変重要だと思うが、討論がないのは、おかしいのではないか。

答 その通りだと思う。

問 メガソーラー事業の説明があったが、四国電力が、もう買い上げの予定を上回っていると、新聞で報道されていたが、本町の場合は大丈夫か。

答 新聞に載っていたのは三原村の方で、変電所の容量がいっぱいで西の方ではできないということ

とになっている。佐川町は、変電所が大きいので容量はまだあるようだ。

問 新聞に鷹ノ巣養豚団地跡を貸するということが出ていたが、予算も何も無い。どうなっているか。

答 町が出資する形はとっていない。業者に町が土地を貸し、地代が入ってくるということで、本町が、お金を出すということはない。

問 県道と県道をつなぐ町道は、何年か前からやってもらうようになっているが、説明の中になかった。予算がないということか。

答 昨年度の事業から繰越の部分があり、約1千万円繰り越している。本年度の予算は、約2500万円、合計約3500万円が25年度の事業で決まっている。

議会改革に、多くの要望、提案が上がる

尾川地区

5月10日 15名



問 議長のあいさつの中で、議会改革という言葉が出ていたが、議員数、議員報酬について、何か考えていることは。

答 本町は、他の市町村より早くから定数の削減に取り組んでいる。人口比率で見たときには、近隣の町村と比べて、議員定数が多いという認識は持っていない。

問 図書館をつくる会を立ち上げ、署名を多くとった経緯もあるが、議会では継続審議となっている。文教の町・佐川にしてはみすばらしい図書館ではないか。多くのお金がかかることであり、署名を取ったから、すぐつくれというわけにもいかないだろうが、青山文庫が大変老朽化し、近い将来建て替えということになるのかと思うが、それに併設して中身のいい図書館を作ることを議会の

方でも考えてもらいたい。

答 確かに継続審議になっている。青山文庫も老朽化し、雨漏りがしている状況もあるので、セツトという方向で、十分検討している。

問 町道整備の事業に関し、西山の方でも非常に町道が荒れている状況があり、要望も出しているが、予算を取ってもらいたい。

答 平成24年度補正予算で幹線の町道の路面正常化調査を行い、国の交付金等を活用し、計画的、具体的な補修計画を立て取り組んでいくという答弁をもらっている。

— 住民の信頼に応えられる議会へ —



加茂地区
5月17日 15名

問 以前、日高村との合併の話が出ていたが、その後、動きは。加茂地区は日高村とは、学校組合、教育委員会を一緒にやっており非常に連携の取れた地域になっている。

答 総務省の方針で、1万人以下の町の合併の推進があり、10年間の合併特例債という「あめ」の部分があった。

問 加茂は佐川町かと感じる時がある。町が、加茂のために何をしてくれたのか見えてこない。学校までの避難道の整備や生活環境道路もできておらず、住民センターは避難所になっているが、老朽化している。

今は期限が過ぎ、町に得がない状態であり、今のところは合併という議論は立ち消えている。

答 圃場整備や水害対策なども、県も絡み整備ができています。道路も下山まで改良するべく県の事業も始まっている。

行政を動かすのは、地域の皆さんの声の結集であり、そのことによって議会も動けると思う。

問 霧生関公園関連で、佐川トンネルの概要について、どんなものをいつ造るのか。

答 国土交通省の事業で、佐川トンネルに歩道トンネルを造る。災害発生時の迂回路も兼ねており、救急車が通れるくらいの大きさのトンネルで、工事が始まっている。

図書館建設の署名

どう受け止めているか

斗賀野地区

5月23日 24名



問 新しい図書館の建設へ、4327人の署名を頂き、陳情書を提出したが、町民の思いをどう受け取っているか。また、委員会では採択されなかった理由は何か。

答 継続審議とした理由は、23年度に163万9千円を使い図書館整備をしていることがあげられる。

青山文庫の老朽化があり、図書館とセットで、文教の町にふさわしいものを造る必要があり、先進地を調査し、十分検討し、対応したい。

問 第4次総合計画「ほどこい町づくり」について、例えば、両常任委員会で議論をするなど、議会としてどう捉え、どう関わっているのか。

答 総合計画についての審議は、あまりしていない。

問 霧生関の問題について、「やめるのか、やるのか」「いつ解決するのか」といった声が多く聞こえてくる。

答 佐川歩道トンネルの残土を入れることになっており、計画自体は生きているが、周辺にある火薬庫の移転について地権者の了解が得られておらず、手詰まり状態になっている。

問 「議会だより」において、それぞれの議案についての、賛否の形が町民に分かるように載せてもらいたい。

答 当初予算の議案については、賛否を名前で載せており、今後も取り組んでいく。

佐川地区

5月31日 26名

問 観光協会に職員を置いて、佐川町独自のお土産等を作って売る考えはあるのか。そうでなければ、佐川町に観光に来ても何にもなしに帰ることになる。

答 まだ、具体的なことは執行部から聞いていないが、今まで観光協会がなく、不十分だったので、観光協会を立ち上げて、対応していきたいとの答弁があった。これから町民の皆さんと一緒に作り上げていく性格のものではないかと思っている。

問 本会議中に、理由もなしに休憩を取っているが、その間に何が行われているのか、議事録に残してほしい。

また、各常任委員会の傍聴は、委員長の許可なしではできない。議事録も実質的ではないようなものなので、傍聴させる

なり、議事録を取るなりしてほしい。

答 本会議中の休憩については、極力とらないようにしているが、議事運営上やむを得ない場合もある。

委員会については、休憩をしないようにし、しっかりと議事録を取っていくように考えている。

問 ごみ収集の談合についての議会質問で、答弁がないものがあつたというところだが、どういうところか。質問に対して、行政側の答弁がないと議会では成り立たないのではないか。



答 一度に多くの質問をする中で、長い答弁があり、答弁漏れがあつたのではないか。質問側のチェックが抜かつているが、議会としては、聞いたことにはしっかりと答弁はもらいたい。

各地区での

その他の意見・要望

○ 議会改革の中で、議員定数削減を要望する。

○ 少子高齢化が進み、各集落も空き家が多くなって、限界集落の様相が非常に強くなりつつあるが、何か集落を守る方策を。

○ 決算等の議案の審議について、密室での審議に見られないように決算委員会のような形をとってはどうか。

○ 両委員長から説明を受けたが、地区懇談会なので、全体的なこと、地区に関することを分けて説明してもらった方が分かりやすい。

○ 高北病院は、きれいに大きくなっているが、中身がまだまだで、市内の個人病院と比べるとベルが落ちる気がする。高吾北の総合的な病院となるよう、議会も力を合わせてやってもらいたい。

○ 農業を続けていく上で、休耕地対策等、何らかの補助がないと農地は荒れていくと思われる。農家は機械化しても割に合わない状況であり、TPP参加と併せて議論すべきでは。

○ 尾川地区だけではなく、高年齢者が増え、買い物難民が大変多くなっている。巡回マイクパスを回して、高齢者の

方々を乗せて買い物に行くとか、考えてみてはどうか。

○ 母と子に関しては、きめ細かい対応が必要だと思つた、子どもについて討論が少ないのでは。

○ 夜間・休日の議会の開催や各地区での開催、ビデオを撮影しホームページに掲載するなど、傍聴者を集める工夫をしてはどうか。

○ 災害時に飲料水の水道がやられた場合を想定し、各地区の井戸水が飲料用に使用できないか、水質検査等を検討してはどうか。

○ 尾川のヘリポートまでの進入路について、曲がりくねって狭い状況なので、緊急時に対応できるように整備を要望したい。

♡佐川に恋して♡

佐川町へのラブレター

■佐川町のどんなところが好きですか。

古い町並みが良いですね。それとお客さまが優しいのが好きです。

■この仕事を選んだ理由は。

父親が金融機関に勤めていて、身近に感じていましたので、自然な感じで選びました。

■仕事は楽しいですか。

まだ入ってから3カ月ですので、お客様に覚え

てもらって声を掛けていただいたりするとうれいいですね。

■趣味は何ですか。

学生のとときにダンスをしていたので、今年60周年のよさこい祭り、高知銀行のチームで踊れるのを楽しみにしています。

■町や議会に望むことはありますか。

私の所はスマートフォンがLTEにつながらなくて遅いですね。古い伝統と近代的なインフラがマッチしたら、さらに良い町になるのではないのでしょうか。



おかたに
岡谷 玲 さん
銀行員 (上郷)

はきはきと受け答える玲さん。今年のよさこい祭り、高知銀行チームの先頭で、はつらつと踊っていきそうな気がします。

玲さんの今後の活躍を期待しています。頑張ってください。

高吾北
広域 町村事務組合 議会

6月3日

売買契約の締結

高吾北清掃センター指定ごみ袋

災害対応特殊
消防ポンプ自動車

(契約の方法)

(契約の方法)

指名競争入札

指名競争入札

(契約金額)

(契約金額)

687万2250円

2730万円

(契約の相手方)

(契約の相手方)

関株式会社

有限会社 共栄防災設備

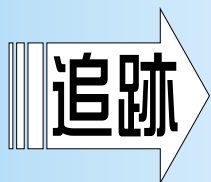
監査委員の選任

西山 毅 氏

佐川町甲2558番地6



購入予定のものと同型の消防ポンプ車



あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ

No.26



災害時の業務継続は重要課題

業務継続計画、策定検討は

(平成24年9月定例会)

昨年の9月定例会において、「業務継続計画策定は、地域防災計画を見直す段階で検討する」との答弁であったが、どうなっているか。

(松浦隆起議員)

平成23年 6月定例会

平成23年12月定例会においても質問

総務課長 答 弁

25年度に策定

25年度に、地域防災計画を見直す時点で、策定することとなったが、25年度の当初予算には計上されておらず、議員の指摘を受け、6月定例会の補正予算に計上。25年度内に策定予定。

どう
なった

策定の方で作業進める

業務継続計画が、応急復旧業務の実効性を高めるとの認識に立ち、来年度に地域防災計画を見直す時点で、業務継続計画を策定する方向で作業を進めたい。

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月6日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員長	岡村 統正
副委員長	坂本 貞雄
委員	松浦 隆起
委員	片岡 勝一
委員	森 正彦

今年、日本列島の猛暑日記録が観測史上の最高値を示したと、新聞、テレビなどで報じられている。
「水分を取って、熱中症にならないように注意してください」と言われているながら、体育の時間に多数の生徒が病院に搬送される。現場の先生方も気をつけている中で、こういったことが起きる今年の暑さではなからうか。
振り返ってみれば、昨年末から今年にかけて、豪雪地帯と呼ばれる地域に記録的な積雪が報道されていた。当地の方が、「私の長い人生の中でこんなに毎日、雪が降り積もったことはなかった」と言っていた。
毎年、予測できない気候変動値を示している世界的な変動の原因は、さまざま言われているが、今後、起きうる自然現象に注意し、知恵を働かせ、構えることが大切だろう。

岡村

編集後記